

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市太白区文化センター
2	指定管理者	公益財団法人仙台ひと・まち交流財団
3	指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 132,273人(前年度比 92.83%) 平成30年度 142,489人 平成29年度 154,742人 平成28年度 146,869人
		《事業》 ・太白区文化センターの運営管理 (太白図書館、太白区中央児童館の施設管理含む) ・自主事業の開催 ・地域の文化団体との連携や活動への支援
5	収支の状況	《費用》 ・指定管理者に支払った費用 196,332千円 (188,312千円) ()は前年度決算額 ・その他市が負担した費用 111,093千円 (106,542千円)
		《収入》 ・使用料収入 29,274千円 (33,708千円) ・その他収入 6,461千円 (6,967千円)
6	利用者の声	《実施状況》 令和2年3月に利用に関するアンケート調査を実施し、58の団体・個人から回答を得た。アンケート結果については、財団ホームページにおいて公表し、ご意見ご要望への回答は1階ロビーに掲示した。また、「ご意見箱」を総合受付に設置し、日常的に利用者の声を把握した。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、今後、劇場やホールに求められる事業として「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。自主事業を通して、地域団体との連携や自主的な活動への支援を超えた地域貢献を果たしている。	27/24
II	施設の運営管理体制	職員が日常、定期的に館内を巡回し事故等を未然に防止するよう努めている。施設内の不具合箇所を発見した際は防災センターと連携し、速やかに改善作業を実施している。また、併設施設と合同で消防訓練を実施することにより、緊急時の避難誘導に係る連携体制の強化に努めている。	30/30
III	施設・設備の維持管理	併設施設と協力してごみの減量化に努めるとともに、廃棄物収集業者を通して廃プラスチックのリサイクル処理を行い、ごみの再生利用の推進に努めている。また、昼間の時間帯には、事務室の受付カウンター部分を除いたエリアを消灯し節電にも努めている。	19/19
IV	サービスの質の向上	総合受付カウンターに案内担当を配置し、併設施設を含めた複合施設全体の利用者への案内・相談を実施している。職員は経験年数に応じた研修受講や職員間の情報共有の徹底に努めており、サービスの質の向上に向けた取り組みを積極的に行っている。	28/28
V	施設固有の基準	これまでの施設管理の経験を活かしながら管理規約や関連法令等を把握し、たいはくする管理組合や併設施設との連絡調整に努めている。また、併設施設の事業への協力を行っており、市民センター主催の「ながまち交流フェスタ」では実行委員会の一員としてステージ企画の演出等を担っている。	6/7

三 評価総括

《指定管理者（（公財）仙台ひと・まち交流財団）による自己評価》
<p>〔施設の使用許可等について〕 条例等の規定を遵守するとともに、市民利用施設予約システムの適正な運用に努め、施設の使用許可にあたっては公平・公正な取り扱いを行いました。使用料については、特に厳重に取り扱い適正な収納事務を行いました。また、個人情報については、財団が作成した情報セキュリティポリシーをもとに、組織全体で適切に管理するよう取り組みました。</p> <p>〔施設の維持管理等について〕 お客様に安全かつ快適にご利用いただけるように、日頃から施設の見回りや設備の点検を行い、危険箇所の早期発見に努め、不備がある場合は速やかな修繕を行い事故等の未然防止に努めました。また、令和元年度は、懸案事項であった「空調設備」の修繕とひろびろトイレを洗浄機付きに更新しました。施工にあたっては、仙台市、工事業者との連絡調整を緊密に行い、工程等の調整について臨機応変に対応し、施設を利用するお客様への影響が最小限になるよう努めました。</p> <p>〔自主事業の実施について〕 地域文化施設のシンボルである楽楽楽ホールをより身近に感じてもらうことを目的に、普段は見ることができないホールの裏側を見学し、実際に照明機材等に触れ、舞台への興味関心を深めてもらう「ホールのうらがわ体験ツアー」を夏休み中の小学生を対象に実施しました。当日は「時間旅行」をテーマに、照明設備等を実際に触れ、自分の好みの色などをつくり楽しんで取り組んでいました。また、令和元年11月には、楽楽楽ホールの特性を活かした可動ステージと出演者自らが舞台構成を考え多彩なパフォーマンスが繰り広げられる「楽楽楽ステージパフォーマンス」を開催。「前回の東京オリンピックを振り返る」をテーマに1960年代の名曲でバンド演奏やダンスで構成しました。司会は柳生中学校放送部も参加し、幅広い世代の皆様楽しんでいただきました。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p><施設の運営管理について> 当施設は、図書館や中央市民センター、児童館のほか商業施設や高層住宅棟が一体となっている本市唯一の複合施設であり、管理方法が複雑であるほか部屋数及び利用者数が多い。職員会議等において各担当の業務状況や窓口対応状況を互いに共有したり、事故防止策に関する研修を実施したりするなど、適切な運営管理に努めている。</p> <p><施設の維持管理・安全管理について> 業者による見回りや定期点検の他に、職員が日常的な目視点検を実施しており、不具合の早期発見による施設の維持管理に努めている。</p> <p><主催事業について> 鑑賞事業やワークショップ事業及び住民参加型事業などに加え、「地域貢献型・社会包括型事業」に取り組んでいる。太白区を拠点として活動している団体等と協力し、地域住民のみならず障害者や乳幼児親子など誰もが気軽に多様な文化芸術に親しんで体感することを目的とした自主事業「楽楽楽文化祭」を開催した。参加者への配慮としてベビーカー席の設置や子供椅子の貸出を行い、ハード面の整備にも注力した。</p> <p><併設施設との連携について> 当施設は公共・商業・住宅が一体となった本市唯一の大規模な複合施設であるため、建物に共用設備（受変電や給排水等）が多く含まれている。共有部分や公共施設部分で発生する様々な設備・運営管理に関する問題を「たいはつくる管理組合」と情報共有し、問題解決に向け日常的に協議し、改善に向けた取組を行っている。</p>	S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項
特記事項なし

◎ 評価担当課（施設所管課）：太白区まちづくり推進部まちづくり推進課